

一学校だより 2023年 10月13日 第25号
(令和5年)(OCTOBER:神無月)

みはらっ子

☆ことばで伝えよう…「おはよう」「こんにちは」「さよなら」のあいさつをする
三原小学校(46-2628) 文責 嵐

一日の気温の寒暖差が大きい時期です。体調を崩さないようにしましょう…

童話作家・宮澤賢治の小説『風の又三郎』に登場する学校の先生が、「むかしから、秋が一番体もこころもひきしまつて、勉強のできる時だ。」と話している場面があります。まさに今がスポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、実りの秋、食欲の秋といわれるように心身共に鍛えられる、「秋」真っ盛りです。



学校では、5・6年生は陸上記録会の練習、そして、全校で、読書感想文の取り組みや教育文化展に向けての作品づくり、保小中合同発表会や音楽祭の練習等、みんなで一生懸命頑張っているところです。また、休み時間は、外で思い切り遊んでいる子どもたちの姿も見られます。子どもたちには元気いっぱい遊ぶためにも、お家での早寝、早起き、しっかり朝ごはん、そしてスッキリうんちの習慣も身につけてほしいと思います。



10/6 (金) 子どもたちは、全校ドッチビー大会で大いに盛り上がりました

読書の秋をむかえて……「心の糧」の第一歩

秋は、「読書の秋」、「灯火親しむ候」(秋になり長くなった夜に灯をかかげて読書に親しむという意味)と言われ、読書には最適な季節です。学校でも、朝読書、選書会、移動図書、中学生による読み聞かせや村のボランティアによる読み聞かせ、図書委員が本を紹介するなど、学級での読書指導と合わせて子どもたちと本の出会いを大切にしています。さらに、たくさん本を読むことによっていろいろな知識を得、心を豊かにすることができます。そして、読書は、私たちが幸せに生活するためには何が大切か考えるヒントを与えてくれます。

子どもたちには、元気に遊んだり、熱心に勉強したりするとともに、読書を通して一生を生き抜く強い心や美しい心、温かい心、相手を思いやる心を耕してほしいと思います。ご家庭でも秋の夜長に、親子で読書に親しみませんか。

10/11 (水) 外部講師・西留安雄先生をお招きして校内研修を行いました



3年生算数：教材名・「わり算や分数を考えよう」



2年生算数：教材名・「新しい計算を考えよう」



4年生算数：教材名・「食べ残しをへらそう」



1年生算数：教材名・「たし算、



5年生算数：教材名・「分数のたし算、ひき算を広げよう」



6年生社会：教材名・「新しい文化と学問」

10月11日、今年度2回目となる外部講師をお招きして校内研修会を行いました。講師は、元東京都公立小学校長であり、現在、東京都板橋区稚竹(わかたけ)幼稚園長である西留安雄先生です。2校時より全学級の子どもたちの学びの様子を見て頂きました。授業参観後は、小中合同研修会を行い、教員の指導力の向上や授業改善に向けて助言を頂きました。

本校は、西留先生のご指導により、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の確立に向けて、学習過程のスタンダードの授業づくりに取り組んでいます。その内容は、子どもが中心となって授業が進められ、自分の考えを伝え、友だちの考えを知り、子どもたち同士のやりとりで課題解決を図っていくことです。そして、子どもたち一人ひとりの思考が深まるような資質・能力の育成を今後も目指していきたいと思っています。

10月31日(火)は、人権教育参観日です。(13:00~15:50)

- 13:00~13:45 5校時 授業参観
- 14:10~15:40 人権コンサート(中学校体育館)
- 15:50~児童下校 ※スクールバス16:10~